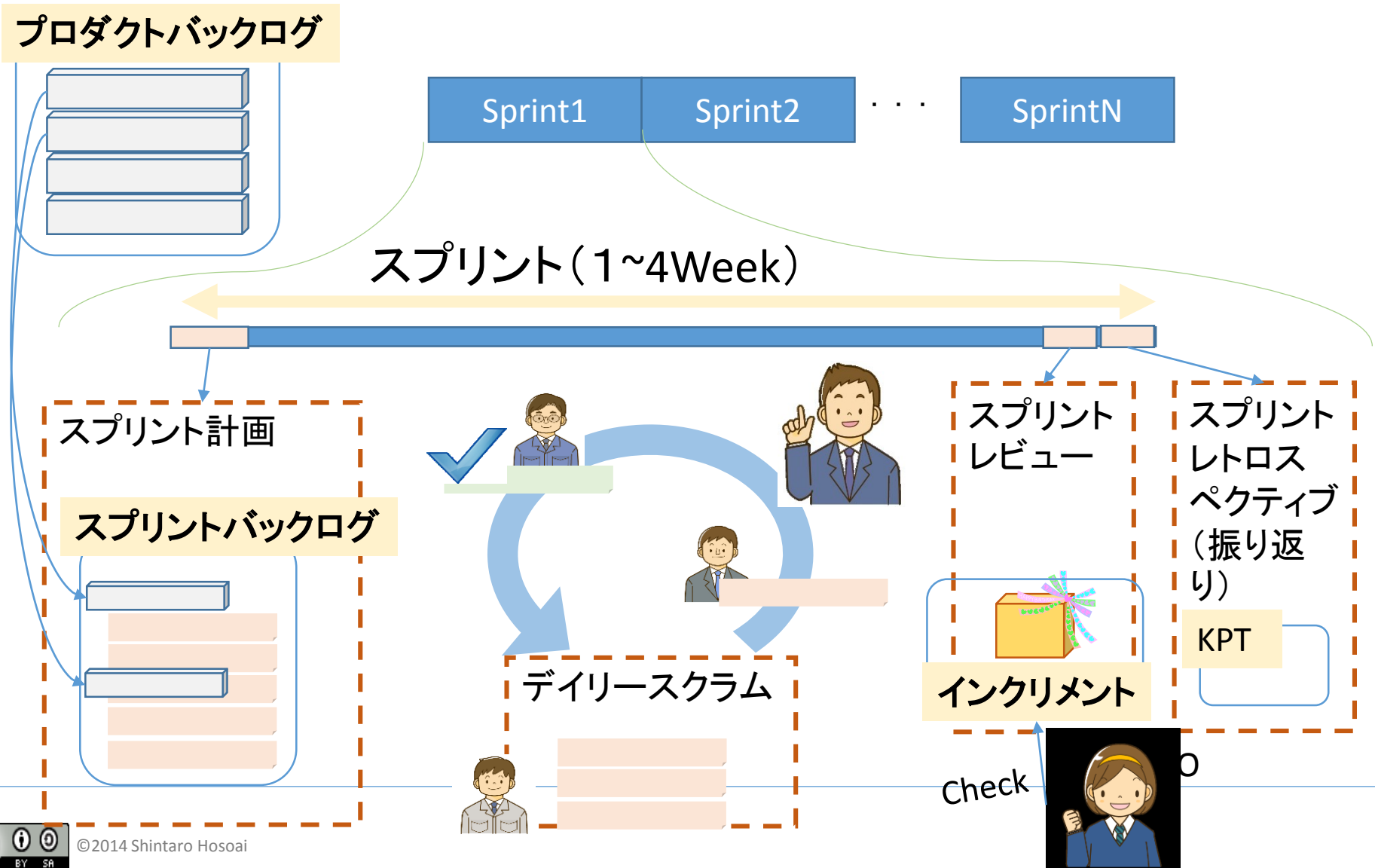


# みんなで Scrum演習!!

細合 晋太郎

# Scrumフレームワーク



# プロダクトイメージ

- 作り始める前に、ステークホルダー内で作るもののイメージを固める
- 機能ではなく、価値に重点を置いて考える
- エレベータピッチ
- とはいえ、今回は競技形式（目的が明確）であるため、作戦会議を行ってください。

# プロダクトバックログの作成（1） 項目の抽出

- プロダクトバックログ項目の抽出
- 項目は、その項目を実現した際にリリース可能なインクリメントとなるように。（要はデモして見せられるモノが出来るように）
- 今回のiRobot Createでは.
  - 指定した距離を進んで止まる
  - 指定した角度で曲がる
  - 障害物を検知し、距離をコンソールで確認できるなどなど.

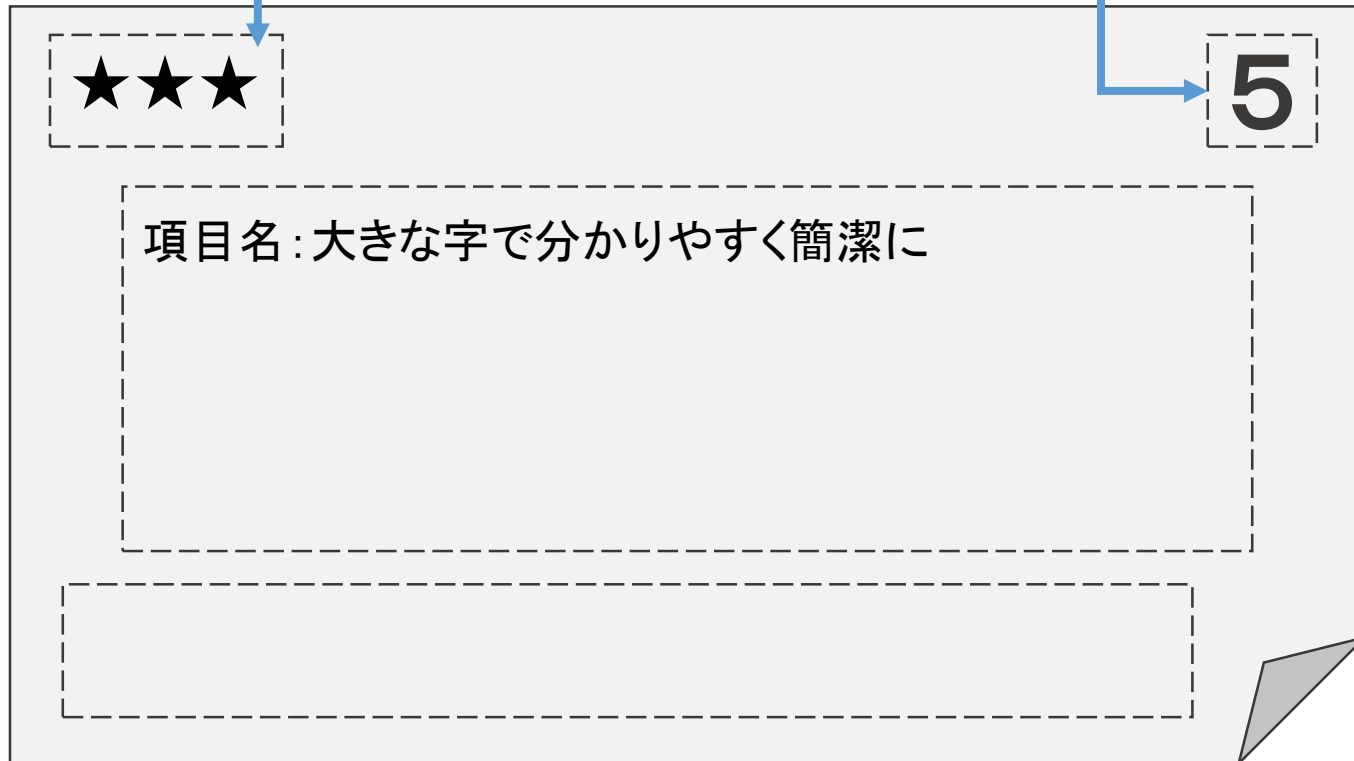
# プロダクトバックログの作成 (2) 付箋例

価値:

★~★★★★★

見積り:

1, 2, 3, 5, 8, 13, ∞



★★★★★

★★★★★

★★★★★

項目名: 大きな字で分かりやすく簡潔に

デモ定義: 何が出来たら, この項目を完了と見なすか.

# プロダクトバックログの作成（2）： 見積もり

- 各項目の「価値」と「難度」の見積もりを行う
- プランニングポーカー
- 1,2,3,5,8,13, $\infty$ ,?といったカードで相対見積もりを行う。
- 一番簡単なタスクがどれか探す。そのタスクを2として、相対見積もりを行う。
- 価値は、その項目を満たした際の価値を見積もる。（優先順位の指標）。加えて依存関係も考える

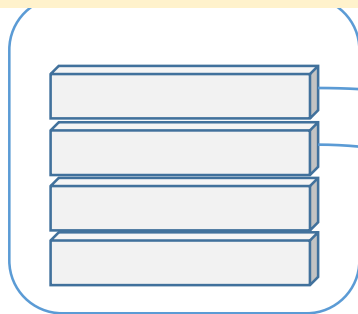
## プロダクトバックログの作成（3）：ソート

- 価値と難度，依存関係に応じて，プロダクトバックログ項目のソートを行う。
- 常にプロダクトバックログ項目は修正する。
- スプリント計画毎，スプリント内でも必要があればミーティングを開き項目の追加や優先度の修正を行う。

# プロダクトバックログからスプリントバックログへ

- スプリント計画ミーティングでは、そのスプリントで作業するプロダクトバックログ項目の選択と、項目を見積もり可能なタスクに分割する。

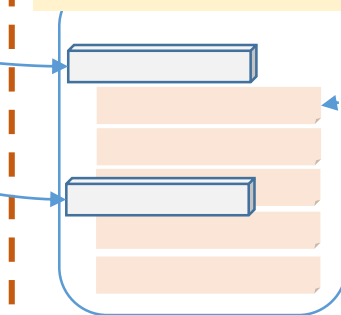
## プロダクトバックログ



基本的にPBLは優先順位で並んでいるはずなので、上から順に取り出すだけで良い。

## スプリント計画

### スプリントバックログ



タスク



# スプリントバックログ（1）：選択と分割

- プロダクトバックログから今回のスプリントで実装する項目を選択する
- タスクに分割する
  - 1タスクは最長でも数時間程度で終わる粒度
- 洗い出したタスクの見積もりを行う
- タスク間の依存関係を分析する

# スプリントバックログ（2）：付箋例

タスク出しの段階では空けておく(デイリースタラムで担当割充て)

大きく、分かりやすく、簡潔に

何を持ってそのタスクを完了とするのか。(テスト後コミットし、通知する, 等)

スプリント  
ト番号

担当者名

見積もり

数分～数時間

タスク名

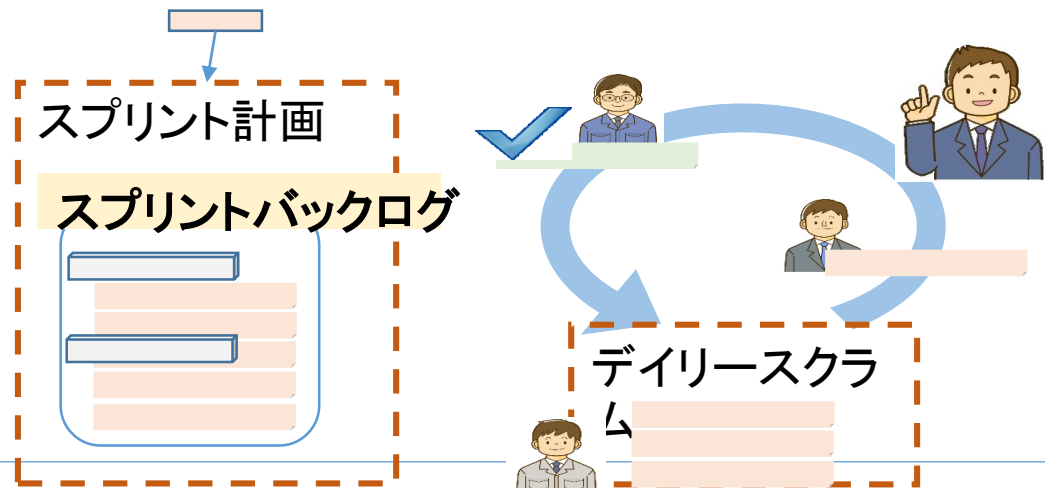
完了の定義

## スプリントバックログ（3）：完了の定義

- タスクの完了の定義を検討する
- コードを書いただけでは完了ではない。
- テストや共有フォルダへのアップロード，関係者への通知などを行う必要がある。
- 何をもってそのタスクを完了とするのかを，事前に明確に定義する

# デイリースクラム

- 各自, 以下を報告
  - どのタスクを終えたか
  - どのタスクを行うのか
  - 問題点があったか
- タスクボードで, 担当したタスクに名前を書き込み, Doingへ (Tracでは担当を割り当てる)



# 開発

- 担当したタスクをこなす
- 終了時は完了の定義が満たされているか確認後, Doneへ
- スプリントが終了するまで繰り返し.

# スプリントレビュー

- 完成したインクリメントが、要件を満たしているか確認する。（本来はプロダクトオーナー、顧客が立ち会う）

# 振り返り

- KPT法で以下の項目について、それぞれKPTを考える
  - 人, 関係, プロセス, ツール

Keep	Try
効果があったため、 引き続き行うこと	次回から挑戦すること
<hr/>	
Problem	
問題があったため、 改善すべきこと	
	Keepはチームの実績のあるノウハウ どんどん蓄積しよう

# チーム開発でのScrum!



# 1 スプリントは2時間

- 最初の数スプリントはこちらから，スプリントの区切りに合図をします．以後は自チームで管理してください．

# タスク看板を作ろう

プロダクトバックログ

A4

プロダクトバックログ項目を  
優先順位順に並べる

スプリントバックログ/タスク看板

TODO

Doing

Done

A3

スプリントバックログ(TODO)とタスク看板を作る  
作業を始める際に、タスクに名前を書き込み、Doingへ  
完了したらDoneへ

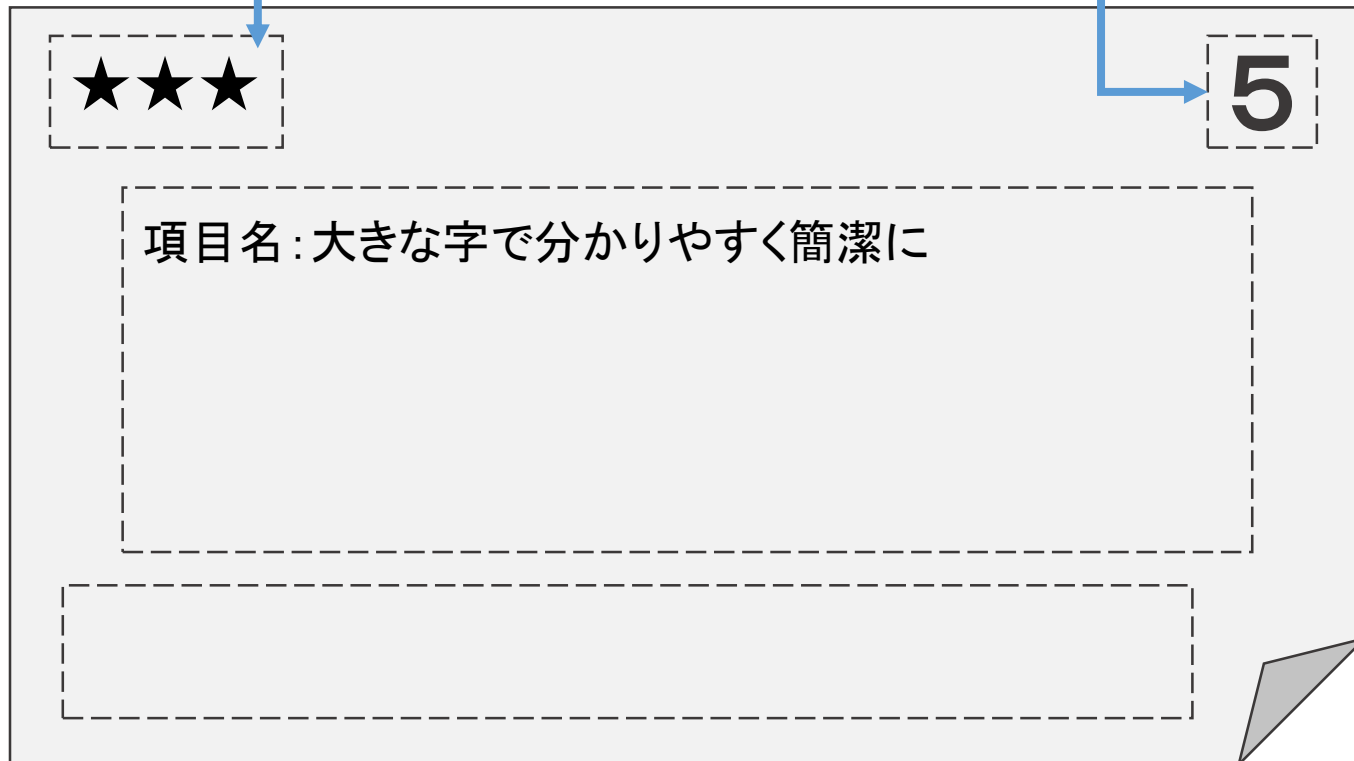
# プロダクトバックログの作成 (2) 付箋例

価値:

★~★★★★★

見積り:

1, 2, 3, 5, 8, 13, ∞



★★★★★

5

項目名: 大きな字で分かりやすく簡潔に

デモ定義: 何が出来たら, この項目を完了と見なすか.

# スプリントバックログ（2）：付箋例

